

湖に出るときは

ライフジャケット + 防水した携帯電話

現在、霞ヶ浦北浦で80名以上の漁師がライフジャケットを着ています。
あなたも「命の上着」(ライフジャケット)を着ましょう。

安全の3ヶ条

1 救命胴衣 (ライフジャケット)

今、とても着やすい救命胴衣が普及しています。
「自動膨張式救命胴衣」といって、
「たすき」のような形なので、
きつくない、作業の邪魔にもならない、
暑くないものです。
水に浸かると自動的に膨張し浮力が得られます。
膨張させたものは部品取り替えて
再度利用できます。
価格は一着1万3千円程度(取替え部品は2千円)。



膨張すると



3 霞北の「もしも」は 110番

湖上での危険・通報・救助の要請は110番です。
いざという時あわてず簡単に通報できるよう、
ワンタッチなどに設定しておくといでしょう。



2 防水した携帯電話

湖上でも大変便利な“ケータイ電話”
しかし、事例によれば、いざという時
浸水して使用不能なことが多いようです。
市販の防水ケースがお手軽です。



作業時の落水に備えましょう

危険はいつともなくすぐそばで...

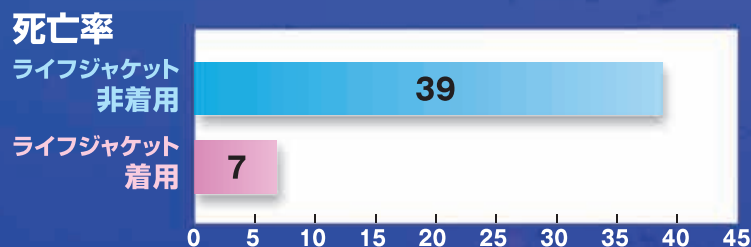
もうこれ以上悲しい涙はいりません。
あなたと、大切な人のために。

ほとんどの漁師が落ちた経験あり

水産事務所で聞きとりを実施したところ、
長年漁師をしているほとんどの方が、湖に落ちた経験「あり」です。
霞ヶ浦北浦では最近の7年間で3名の尊い命が失われています。

ケガなどで動けないことも

泳ぎに自信があっても、かっぱを着て泳げるでしょうか？
落ちる際にケガをして動けなかったら？
真冬の5℃の水に耐えられますか？
落水時はできるだけ静かにして体温保持に努めるのが原則です。
もしものときに、あせらないためにも
ライフジャケットの着用を！



**ライフジャケット着用時は、非着用時に比べ
死亡率がなんと5分の1**

(国土交通省による)



事例1

2月、単独で刺し網漁で水中に入って網を確認しようとして溺れた。救命胴衣は着用していなかった。

事例2

単独で漁をしていたところ、漁船から転落した。無人の漁船がエンジンをかけたまま旋回しているのを見た発見者が通報し、警察・消防・漁協等で捜索したところ水中で発見されたが死亡していた。救命胴衣は着用していなかった。

事例3

救命胴衣を着用し、自己所有のボートに1人乗船し出港、沖合に設置してある漁船係留用のブイに係留して魚釣りを始めた。出港当時は波もなく穏やかな海であったが、しばらくして時化始めたことから、ブイから離れ帰港しようとしたところ、波浪を受け転覆した。

転覆後、事故者は船につかまり、所有していた携帯電話に短縮入力してあった118番(海の場合)により遭難通報を行った。海難の情報を受け、近隣漁協所有船が出動し、現場付近にて漂流中の事故者を発見、救助した。事故者は、負傷等はなく無事であった。